

筑波大学新聞

第366号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会

TEL・FAX 029(853)6699

E-mail
shinbun@
un.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

注目記事

- つくば市独自にPCR検査
- 2年ぶりの芸術祭オンラインで
- 水泳飯塚池江破りインカレ優勝
- オンラインスポデー開催
- コロナ禍大学生の心の健康

11 10 9 5 2

特集

知生かし可能性探る
筑波大とeスポーツ 6・7

ミニ特集

スポーツの秋 3
筑波大ジョギングコースを走る

佐藤 西武2位指名

プロ野球ドラフト「新人王目指す」



指名後の会見で西武の帽子を被り、笑顔を見せる佐藤 (10月11日、つくば国際会議場で)

10月11日に開かれたプロ野球の新人選手選択(ドラフト)会議で、筑波大硬式野球部の佐藤輔投手(体専4年)が埼玉西武ライオンズから2位指名された。佐藤は「支えてくれた方々に恩返しができるよう頑張りたい。1年目から活躍し、新人王を目指したい」と意気込みを見せた。筑波大出身者の指名は、昨年就売ジャイアンツに育成9位で指名された奈良木陸(令和2年度社会学類卒)に続き、9人目。 (天野隼太比較文化学類2年、写真も。12面に関連写真)

佐藤は仙台市出身。身長182センチ、体重83キログラムの左腕で、最速152キロのストリートと、制球の良さを生かしたスライダー、チェンジアップが武器だ。高校3年夏の宮城大会では5試合で58三振を奪った。2019年には日米大学野球選手権の日本代表に選ばれ、登録した経験も持つ。筑波大入学後は「投球のスピードや技術など、全において成長した」と川村卓監督(体育系・准教授)は話す。

会議当日、佐藤はつくば国際会議場(つくば市竹園)で指名を受けた。指名の瞬間も正面を見据え、表情を崩さなかったが、その後の会見では「まずはスタートラインに立てたことにほっともできた」と話した。

佐藤は10月20日、指名あいなつて筑波大を訪れた西武ライオンズの潮崎哲也編成グループディレクターらと対面。潮崎ディレクターは、「まさか2位で残っているとは思わなかった。スケールの大きな先発型投手で、チームに勝ちをもたらしてくれると思う」と話していた。

と期待感を示した。佐藤は「改めてプロ野球選手としてスタートする」という実感が湧いた。1年目は、開幕からしっかりアピールして、将来的には、日本を代表するトップの投手として活躍したい」と闘志を見せたい。

2年連続で箱根逃す

福谷が全体16位でチームトップ

来年1月2、3日に開催される第98回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)の出場校を決める予選会が10月23日、陸上自衛隊立川駐屯地(東京都立川市)で行われた。2年ぶりの本戦を目指した筑波大は10時間48分14秒で13位となり、本戦出場を逃した。福谷颯太(体専3年)が個人記録で全体16位に入り、関東学生連合チームへの選出が濃厚となった。 (大和祐菜比較文化学類3年、8面に関連記事)

筑波大トップの福谷の記録は1時間2分58秒。杉山魁声(同4年)が同2位の1時間3分38秒でゴールし、全体44位に入った。筑波大の合計タイムは10位の国士館大と2分33秒差。トップの明治大は10時間33分22秒だった。

駅伝主将の杉山は「上位6人は予定通りの走りでしたが、下位は予選会経験者が少なく、他大学との経験値の差が出てしまったと感じた。やれることはすべてやってきた1年だった。

シェアサイクル「つくばチャリ」始動

つくば市「公共交通の補完手段に」

つくば市はシェアサイクル実証実験事業「つくばチャリ」を10月1日から始めた。つくばエクスプレス(TX)のつくば駅や研究学園駅、カスミ筑波大学店が市内20カ所にサイクルポートを設置し、計50台の自転車を配置した。利用者はスマートフォンアプリを使って自転車を借り、20カ所のサイクルポート問題をいつでも自由に行き来できる。実証実験は3年間で、市は公共交通を補完する移動手段としての目指している。 (車谷都実社会学類2年、浅野宏太社会学類1年)

利用者はスマートフォンアプリで予約、返却処理も専用アプリで行う。異なるサイクルポート間での片道利用



サイクルポートは20カ所ある(10月29日、カスミ筑波大学店前) =大和祐菜撮影

も可能だ。導入した自転車は日本のメーカーが昨年発売した新機種「Root One」。ペダルを踏み込むとギアに内蔵されたシリコンが圧縮され、その反発力で乗ることができるとい

市によれば、事業開始1週間の利用者は1日20〜30人ほど。つくば駅や研究学園駅、カスミ筑波大学店の利用者が多かった。市は実証実験での利用状況などを踏まえ、本格導入するかどうかを決める。市サイクルコミュニティ推進室の藤代拓主任は、バス

の待時間が長い時などに利用してほしい。実証実験のデータからポートの数や設置場所を検討し、利便性や利用率を高めていきたい」と話している。

箱根駅伝予選会上位10校は以下の通り。▽明治大▽中央大▽日本体育大▽山梨学院大▽神奈川大▽法政大▽中央学院大▽駿河台大▽専修大▽国士館大

5時間しかできなかった。大学生活最後の演奏になるかもしれないという思いで演奏していた団員がいたこと。演奏会の裏で刻まれた物語が、演奏会にも増して印象的だったからだ。緊急事態宣言が9月いっぱい解除され、課外活動も日常を取り戻しつつある。夕陽の中、文化系サークル館から漏れ出る明りや楽器演奏の音に、これがキャンパスだと思ふ。▼秋学期が始まり、対面授業に出席した後、1人の先輩が駆け寄ってきた。「この間は記事を書いてくれてありがとう。コロナ禍での苦勞も紹介してもらい、本当にうれしかった。その声をかけられ、こちらがうれしくなった。記者冥利に尽きる瞬間だった。

クラシックからポップスまで約2時間。熱演が終わったノバホール(つくば市吾妻)は、盛大な拍手に包まれた。6月に開かれた筑波大学吹奏楽団の定期演奏会。久しぶりにライブ音楽を全身に浴び、気が付けば、自然と体がリズムを刻む自分がいた。▼コロナ禍のため演奏会の開催は1年半ぶり。オーボエ、アルトサクソ、クラリネット……楽器を奏でる76人の団員が浮かべた喜びの表情が、今もまぶたに残る。本紙第364号でその様子を紹介したが、記事では演奏内容に加え、団員たちの思いを紹介することにも力を入れた。▼感染対策のため、団員全体での音合わせは公演当日と前日の計

学問への誘い

坪内教授に聞く今後

今年で開講3年目

総合科目「学問への誘い」は今年で開講から3年目を迎えた。学問分野の広がりや他の学問とのつながりを新入生に伝えることを狙った科目で、本紙が6月に実施した学生アンケートでは、「受講して良かった」「どちらかといえば良かった」75%が回答した。同科目の授業内容や実施方法を検討する学問への誘い制作実施委員会の委員長を務める坪内孝司教授(シス情報系)に、これまでの評価と今後の展望を聞いた。



坪内孝司教授

「本紙のアンケートでは学生の9割が『学問の面白さや多様性を知ることができた』『どちらかといえば知っているが』と答えた。科目の狙いは伝わっているか」

坪内教授は、「本紙のアンケートでは学生の9割が『学問の面白さや多様性を知ることができた』『どちらかといえば知っているが』と答えた。科目の狙いは伝わっているか」

「学問への誘い」は今年で開講から3年目を迎えた。学問分野の広がりや他の学問とのつながりを新入生に伝えることを狙った科目で、本紙が6月に実施した学生アンケートでは、「受講して良かった」「どちらかといえば良かった」75%が回答した。同科目の授業内容や実施方法を検討する学問への誘い制作実施委員会の委員長を務める坪内孝司教授(シス情報系)に、これまでの評価と今後の展望を聞いた。

「世界」の舞台でもう一度戦いたい」

「世界」の舞台でもう一度戦いたい」

「世界」の舞台でもう一度戦いたい」

筑波大とジェトロ 連携協定

海外との共同研究推進狙い

筑波大と日本貿易振興機構(ジェトロ、本部・東京都港区)は8月5日に包括的連携推進協定を締結した。世界55カ国に76事務所を持つジェトロのネットワークを生かし、海外企業・団体・産業クラスターなどの連携を推進する。また、筑波大発ベンチャーの海外展開や留学生の就職活動を支援する。金保安副学長(産学連携担当)は、「ジェトロとの連携により、大学発ベンチャーも含めて、国際的な共同研究を進むことを期待している」と話した。

筑波大は昨年12月、科学技術振興機構(JST)の「Well-being(幸せ)」をテーマとする社会の実現を目指す。実現に向け、海外の研究機関や企業などとの共同研究などを促進するため、ジェトロとの連携が教員や就職課、国際産学



調印式での永田恭介学長(左)とジェトロの佐々木伸彦理事長=産学連携企画課提供

また、卒業後もつばや日本に残りたい留学生に向け、地元企業への就職支援を行う。これにより、地域のグローバル化を促す。さらに、外資系企業25社が参加する企業説明会を11月26日にオンラインで開催する。日本人学生、留学生問わず参加可能だ。

市民は1000円で つくば市独自でPCR検査



検査希望者は仕切られたブース内で唾液を採取する(10月25日、つくば市役所で)

つくば市は新型コロナウイルスのPCR検査を10月20日から始めた。対象は検査を希望する小学生以上の市民と市内在勤・在学者で、予約制。無症状の感染者からの感染拡大防止が狙いで、感染者の濃厚接触者は対象外だ。市感染症対策

秋学期の授業 政府の緊急事態宣言解除などを受け、筑波大は10月1日、活動形態を変更した。授業は、以前の「感染拡大防止に最大限配慮しつつ、対面での授業を実施できる」とした。茨城県への宣言発令に対応し、8月20日に「授業はオンラインを中心にする」と警戒度を引き上げていた。



永田恭介学長(中央)を表敬した米岡(左)と橋(右)(10月25日、本部棟で)

「タンDEM自転車」のハン

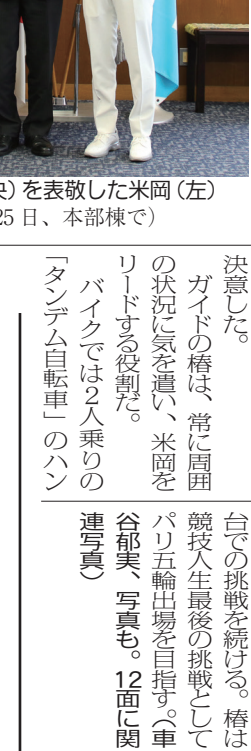
「タンDEM自転車」のハン

「タンDEM自転車」のハン

「タンDEM自転車」のハン

職域接種2回目実施

3回目の接種は未定



接種を受ける学生(10月20日、大学会館で)=細井真生撮影

筑波大は、学生や教職員「イルスタク」の職域接種を対象にした新型コロナウイルスの2回目を9月27日～10月20日に実施した。8月9月の1回目を受けた約8000人が接種を終えた。同課によると、3回目の職域接種を筑波大で行うかどうかは未定だ。

2回目の接種を終えた学生の声を聞いた。原那津さん(比文2年)の話、副反応が出たとしても、新型コロナで重症化するよりは良いと思った。感染者数も多く、夏休みは東京都の実家に帰省できなかった。ワクチンを打てば、帰省できると思った。

スポーツの秋 筑波大のジョギングコースを走る



筑波大には長短二つのジョギングコースがある。キャンパスの各施設を環状に結ぶループ道路の歩道部分を活用して設けられ、多くの学生や地域の人々が利用している。街路樹の葉が色づく秋は、走りやすい気温で、周囲の景色も楽しめる季節だ。新型コロナウイルス感染症への不安から、運動不足に陥りがちな日々が続く。コースを利用している学生や体育系の教員への取材から、コースの魅力や景観ポイント、コロナ禍でも安心・安全な走り方を紹介する。(天野隼太、山田優芽、比較文化学類、大和祐菜、障書科学類、田中千裕、生物学類、太田碧、第2類)

多くの人に 親しまれ

筑波大の二つのジョギングコースはAコース(大)

ループ)が1周5.3km、Bコース(小ループ)が同じように、距離を正確に計測3.8km。信号機はAコースに四つ、Bコースには二つしかない、走りやすい。当時の陸上競技部の1、2年生に手伝ってもらい、車の少ない午前4時55分に50名、本部棟の1階地点から小ループを通り、第三エリア横の2階地点までを走ることで、信号なく1kmを刻むことができる。体育・芸術エリアには起伏もあり、競技志向のランナーが走るのにも向いている。ループ道路をジョギングやウォーキングで利用する人は昔から多かったが、

魅力に富んだ コース

二つのコースを利用することもある筑波大学陸上同好会のメンバーに、コースの魅力や見どころ、利用上の注意点について聞いた。



大会館に続く跨道橋の上り坂(10月29日、自然系学系棟前) = 天野隼太撮影

坂道がトレイニングに

2コースに共通する自然系学系棟から大会館にかけての道は、平塚通りを渡るため、やっばり動かせない走りや急なアップダウンになっている。齊藤祥太さん(心理学3年)は「上り坂は体をしっかりと動かさないと走れない。腕が振れているかなど、走るフォームを確認できる」と話す。また、西山渡道橋(横断するため、やっばり動かせない走りや急なアップダウンになっている。下り坂では、気持ちよくスピードを上げられる」と語る。



けやき通りの黄色いトンネル(10月28日、陸上競技場前) = 天野隼太撮影

四季折々の景観

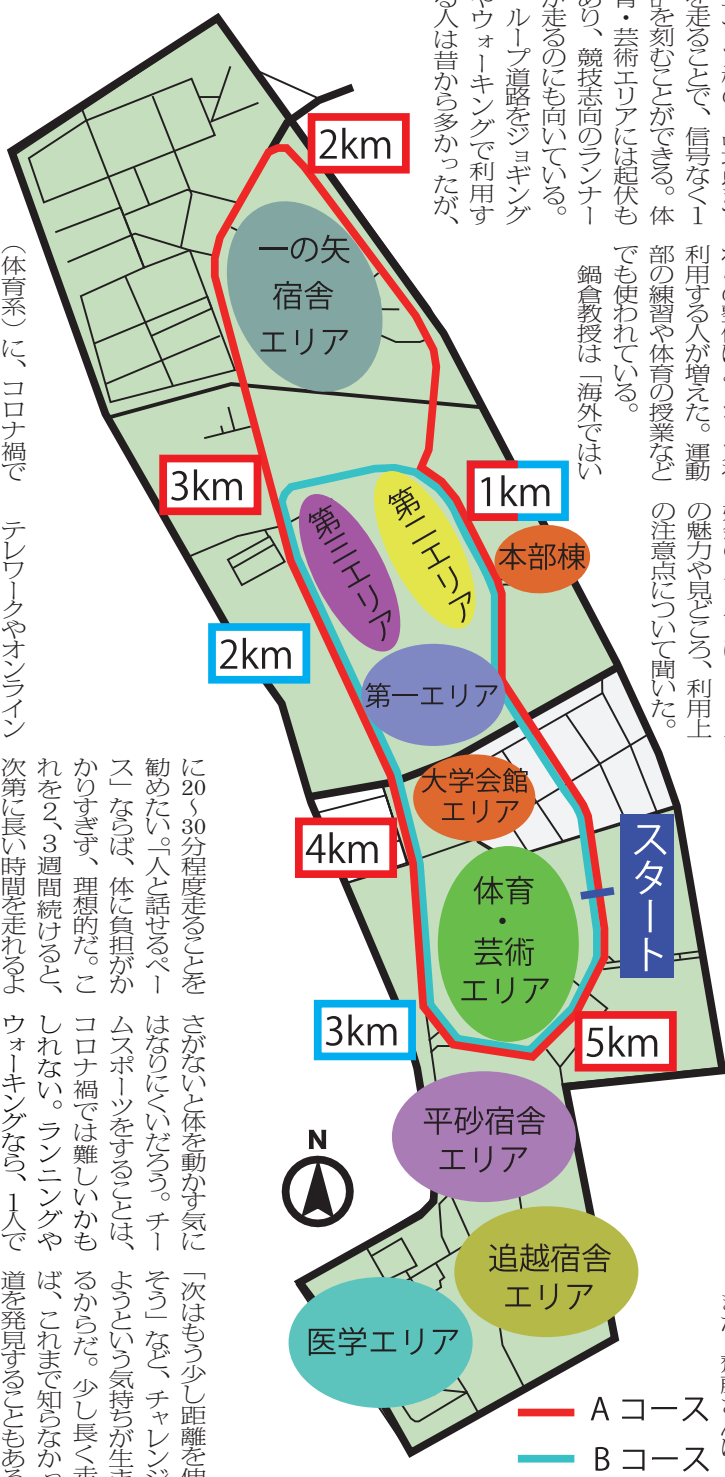
自然に囲まれたジョギングコースには、走りながら景観を楽しめる場所も多い。飛田晴哉さん(1類1年)は「カスミ筑波大学前に、ジョギングコースを少し外れて虹の広場の方に入ると、桜を楽しめる」と語る。また、齊藤さんは「二つ」と感じた時には、無理をせず歩いていい。まずは、30分ほど外に出てみる。そこから始めてほしい。

夜の景色も楽しみ



ジョギングコースから見た夜の実験用ビニールハウス(10月28日、生物・農林学系棟前) = 天野隼太撮影

夜に走ることが多いという等井拓実さん(資源1年)は「生物・農林学系棟近くの実験用ビニールハウスから漏れる照明の光が明るくきれいだと語る。鳥山諒さん(数学3年)は「街灯が少ない一矢生宿舎周辺を夜走ると、第三エリアなどの建物の明かりがきれいに見える」と話す。一方で、飛田さんは「暗い時は一矢生周辺を走りたくない」という。木の根の成長で道路のアスファルトが盛り上がりつつある部分があり、足を取られた経験があるからだ。



(筑波大ジョギングコースマップを基に作成)

取材班で実践

ではコロナ禍でも安心して走るためにはどのような対策が必要なのか。さまざまな方法が紹介されているが、今回は鍋倉教授への取材やスポーツ庁などの方針を参考に、本紙記者がジョギングコースを実際に走ってみた。

その後、水分補給や屈伸などの準備運動をして、陸上競技場近くのスタート地点に立った。2人1組に分かれ、それぞれAコースとBコースを走った。ジョギング中の対策のポイント目は状況に応じたマとの対応を呼びかけていく。鍋倉教授は「ジョギング中はマスクを着けなくていい」と話す。マスクを着用すると体への負担が大きくなる上、熱中症のリスクも高まるからだ。だが、マスクを着用していないランナーを見て、感染の不安を感じる人もいる。厚生労働省は、マスクを携帯し、人とすれ違う時は着用するなどの対応を呼びかけている。

筑波大のジョギングコースは、道幅が狭い箇所がある。取材班では、スポーツ庁の方針に基づき、前後は少し斜めに走った。記者が走ったのはAコースの5.3km。約40分のジョギング中、鳥のさえずりが聞こえ、土や草木の匂い、心が和んだ。他のメンバーたちも「木漏れ日がいっぱいだった」と、走りを楽しめたようだった。

識者に聞く

ランニング学会副会長を務める、「ジョグ&ウォーク」や「ジョグ&ラン」の授業も担当する鍋倉賢治教授



鍋倉賢治教授

(体育系)に、コロナ禍でのランニングの効用や楽しさについて聞いた。(聞き手・大和祐菜、田中千裕)

テレワークやオンライン授業に体が適応すると、運動が面倒になってしまふ。運動不足の状態が何カ月も続くと、心身の不調を招くことも考えられる。コロナ禍で新たにジョギングを始める人も増えた。初めは週に2、3回、一度

に20〜30分程度走ることを勧めたい。人と話せるペースなら、体に負担がかかりすぎず、理想的だ。コロナ禍では難しいかもを、2、3週間続けると、次第に長い時間走れるようになる。健康維持のため、高齢者が自ら進んでウォーキングやジョギングをすることも多い。だが、若者は、楽しんで走る楽しみが増す。

自分なりの楽しみ方で

初心者は、気負わないことが重要だ。走っていき



1.5〜2分の間隔を空けて並走する取材班記者(10月21日、松美池前) = 天野隼太撮影

天野隼太

記者の声



北川瑠菜

【1面に関連記事】奈良県大和高田市で今年9月、19歳の男子大学生が電車でひかれて死亡した。コロナ禍で大学に通えなくなりの、6月ごろからふさぎ込んでいた。「大学をやめたい」と周囲に漏らしていたという。

大学生の心の健康 相談窓口の態勢強化を 身近な人の異変気にかけて

緊急事態宣言が10月に解除された。キャンパスに活気が戻りつつある。大学には今だからこそ、精神的、経済的に悩む学生を見落とさない体制強化を求めたい。そして、私たち若者も、周囲の友人たちの異変をキッと

が背景にあるのは間違いない。緊急事態宣言が10月に解除された。キャンパスに活気が戻りつつある。大学には今だからこそ、精神的、経済的に悩む学生を見落とさない体制強化を求めたい。そして、私たち若者も、周囲の友人たちの異変をキッと

うつ病の恐れがある学生を問診で見つけ出し、精神科を受診するよう呼び出しをかけている。昨年度は1219人に呼び出しをかけ、133人が応じた。この事自体は評価できる対応だが、呼び出しに応じなかった約1100人が気になる。

うつ病の恐れがある学生を問診で見つけ出し、精神科を受診するよう呼び出しをかけている。昨年度は1219人に呼び出しをかけ、133人が応じた。この事自体は評価できる対応だが、呼び出しに応じなかった約1100人が気になる。

筑波時評

2021年8月、「20年度児童虐待 初の20万件超」といった見出しが新聞各紙などで掲げられた。「コロナの影響か」と付記されている記事もある。

家族との関係は変わりにくい 生活のバランス戻す方策を

しかし、児童相談所における児童虐待相談対応件数は、統計を取り始めた1990年以降、これまで一貫して増加し続けている。コロナ禍だから特に増えているわけではない。増え幅はむしろ例年より低く傾いた。

これに関する興味深いデータがある。朝日新聞世論調査(2020年11~12月実施、有効回答数2126人)であるが、コロナ禍で家族と接する時間が増えたかどうか、という質問に「増えた」と回答したのは22%、「減った」は13%、「変わらない」は64%で最多だった。

田附 あえか 助教 (家族心理学)



人間系・助教。東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。博士(心理学)。児童養護施設心理士。子どもの虹日本虐待・思春期問題情報研修センター研究員を経て、2009年より現職。

反射鏡

〇〇な秋

緊急事態宣言が解除されて迎えた秋。キャンパスに課外活動に取り組む学生たちの姿が戻ってきた。芸術スポーツ、それとも食欲……。筑波大生は「秋」から何を連想するのだろうか。中央図書館前などで聞いた。

【1類1年・女性】が始まる。毎年秋は部活動

【比文4年・女性】秋といえばサツマイモに専念する時期だ。

【比文4年・女性】買って、炊飯器でふかし芋

【比文4年・女性】秋にはカボチャを、よく料理に使う。鍋に入れること

【比文4年・女性】秋にはカボチャを、よく料理に使う。鍋に入れること

【比文4年・女性】秋にはカボチャを、よく料理に使う。鍋に入れること

【比文4年・女性】秋にはカボチャを、よく料理に使う。鍋に入れること

18歳成人どう思う？

2022年4月、民法改正により成人年齢が現在の20歳から18歳に引き下げられる。142年ぶりの見直しだ。クレジットカードを作る、ローンを取りやすくなる。18歳から親の同意なしにできるようなこと

【障書P前期1年・女性】実感を持ちやすいのではな

【障書P前期1年・女性】実感を持ちやすいのではな

【障書P前期1年・女性】実感を持ちやすいのではな

【障書P前期1年・女性】実感を持ちやすいのではな

【障書P前期1年・女性】実感を持ちやすいのではな

【障書P前期1年・女性】実感を持ちやすいのではな

【障書P前期1年・女性】実感を持ちやすいのではな

【障書P前期1年・女性】実感を持ちやすいのではな

【芸術P1年・女性】出身地の中国山東省で、夏が終わると直ぐに冬がやってくる。なので、山

【世界遺産P1年・男性】紅葉を見るのが好きだ。

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい



イラスト＝大橋翔和(比較文化学類1年)

最近、木々の葉が色づき始めた筑波山に登った。山頂から見た赤や黄に染まる山の斜面がとてもきれいで、秋を感じた。

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

【類1年・男性】経済学の先生は「秋とい

「芸術祭」オンラインで初開催 新たな枠組みで再出発

11月6、7日、筑波大学学園祭(雙峰祭)が初めてオンライン開催される。目玉企画の一つが、芸術専門学群の学生らの作品展示や販売を行う「筑波大学芸術祭」だ。昨年は新型コロナウイルスの影響で雙峰祭のものが中止となった。芸術祭のテーマは「再び」や「新たに」を意味する「Re」。枠組みごと新たに、優れた芸術祭を作ろうという思いを込めた。画面をスクロールすると作品の制作過程が分かるなど、オンラインを生かした企画が数多く用意されている。

新しい芸術祭を

会場となる特設サイト上には5C棟や6A棟周辺を模した仮想空間「TADF SQUARE」が設けられている。閲覧者は各建物を訪れ、そこに用意されたさまざまな企画を楽しむ。芸術専門学群の学生で構成する芸術祭実行委員会による▽原寸展▽変遷展▽ライブ企画▽フリーマーケットなど7企画と、陶器作りのワークショップを通して東日本大震災の被災者をつくば市民が交流する「結の器プロジェクト」の歩みを紹介するなど、一般応募による6企画が用意された。

リアルにない展示を

「オンライン展示に足りないものは何か」を、実行

委員のメンバーたちが考えて企画した、今回の目玉とも言える企画が「原寸展」と「変遷展」だ。原寸展では、絵画や彫塑を実寸大で画面に表示する。大きな作品だとオンライン画像を表示する画面に収まり切らなくなるが、長谷川さんは「画材の質感など作品の細部まで見ることができると、その狙いを話す。画像を縮小し、作品全体を見ることが可能だ。変遷展は、油絵や水彩画CGなどの作品が完成するまでの制作過程を3〜5枚の写真でたどる。画面をスクロールすると、次の制作過程の写真が表示される。展示スペースの制限がないオンラインの強みを生かした展示になっている。

熊谷悠真さん(同一学年)は、抱擁する男女を描いた油絵を変遷展に出展した。



サイト上で他の閲覧者の居場所が分かる仮想空間「TADF SQUARE」=芸術祭実行委員会提供

白いキャンパスの上に空き缶や紙を貼り付けた後、油絵の具で彩色した。「汚い部分も含めて愛し合うことを表現した。制作の途中で色使いや作品の構想を変えた。悩みながら描いた過程を伝えたい」と語った。

芸術の魅力を動画で

ライブ企画は、芸術専門学群の学生や教員の横顔を動画で紹介する企画だ。学生パートと教員パートがあり、学生パートでは

作品を多くの人に

フリーマーケットはオリジナルグッズを制作・販売できるサイト「SUZURI」を活用して、芸術専門学群に所属する15人の学生がデザインしたTシャツやマグカップ、トートバッグ

専攻が異なる2人の学生の作品や、普段使っている絵の具、粘土、作業場所などを紹介している。教員パートでは、川島史也助教(芸術系)と原忠信准教授(同)が登場し、5秒間隔で34の質問に答える。あえて芸術とは直接関係ない質問をすることで、教員の人となり迫った。企画を担当した寺澤理歩さん(芸専3年)は「受験生や、オンライン授業で教員と直接会う機会が少なかった学生にも見てほしい」と語った。

なを販売する。SUZURIは、Tシャツなど規定のグッズを用意しており、デザイナーが制作したイラストなどをそのグッズにプリントして販売する。デザイナーには販売代金の一部が支払われる。企画担当の小沢遥さん(同3年)は「デザイナーの作品は、発注された分だけ販売される。一点物を販売してきた例年とは異なるが、多くの人に手にしてもらえ、オンライン販売の強みだと語った。

Bombs! 優勝

アイドルコピーダンス大会で

大学生によるアイドルコピーダンス大会「UNIDOL(ユニドル)2021 FreshBerry」が10月6日、新宿ReNY(東京都新宿区)で開かれ、筑波大のアイドルコピーダンスグループ「Bombs!」が優勝した。息



ダンスを披露するBombs!のメンバー=同団体提供

の合った、笑顔いっぱいダンスを披露し、観客から特に高い評価を得たことが、優勝につながった。同大会は前年度の大会に出場経験がないメンバーで17人のチームで臨んだBombs!のパフォーマン

ス約7分。ピンクとオレンジの3曲のコピーダンスを披露した。チームリーダーの松田

順位は3人の審査員視点と観客投票の合計点によって決まる。審査員はチームのダンススキルやパフォーマンスの完成度、表情や仕草のアイドルらしさなどを評価する。観客投票は、観客が演技全体を評価し、1人が2チームに投票する。

宇宙生活テーマに

東京でデザイン展

宇宙でも快眠できるベッドや宇宙飛行中に着る船内服など、宇宙滞在時代をテーマに筑波大の学生が発案した作品を紹介する「宇宙生活展」が、宇宙ミュージアムTENQ(東京都文京区)で開かれた。展示期間は第一期が10月

2〜17日、第二期が11月4日〜14日。展示されたのは山中敏正教授(芸術系)の授業「情報・プロダクトデザイン演習2」の受講生が制作した作品で、第一期は11人の受講生のうち6人、第二期は残りの5人の作品が紹介された。

上野菜奈さん(芸専3年)は、宇宙飛行士が船内で快適な睡眠がとれる寝袋「ねまきまき」を発表した。騒音を吸収する柔らかいクッションを頭の周りに置き伸縮性の高い布で作る。船内の機械音を遮断し、自由な姿勢で寝られるようにしたという。上野さんは「体験したことのない世界を想像してデザインするのが大変だった。宇宙飛行士のインタビューなどを参考にしながら約2カ月半かけて完



江口真規 助教 (比較文学)
人文社会系・助教。筑波大学 院人文社会科学部研究科文芸・言語専攻博士課程修了。博士(文学)。秋田県立大助教を経て、2019年より現職。

「ダンス・ダンス・ダンス」は、村上春樹の初期三部作と呼ばれる「風の歌を聴け」「1973年のピンボール」「羊をめぐる冒険」の続編といわれる作品である。東京で働くフリーライターの主人

「ダンス・ダンス・ダンス」は、村上春樹の初期三部作と呼ばれる「風の歌を聴け」「1973年のピンボール」「羊をめぐる冒険」の続編といわれる作品である。東京で働くフリーライターの主人

その年の春休みには、引越費用を稼ぐため、アルバイトで暮らさなければならないような悲しみと、「踊るんだ。踊るんだ」という羊男の言葉だけが、なぜか強く心に残った。そしてこの言葉が、19歳を迎えた私の大学生活のモットーになった。新しく始

め、いつものアルバイトと合わせて派遣の短期バイトをしていた。それは、時には駅前のティッシュ配りであったり、工場の袋詰め作業であったり、ショッピングモールの店員であったりする。また肌寒い春の日の中を、自転車やバス、常磐線に乗る際、茨城県内のさまざまな派遣先に赴いた。その移動や休憩の時間に、図書館から借りてきた村上春樹の全集を読んでいた。



『ダンス・ダンス・ダンス』村上春樹著

公は、かつて「羊をめぐる冒険」で滞在した北海道の「いるかホテル」を訪れ、羊男に再会する。羊男は、東京と北海道、ハワイをめぐる三つの舞台と、主人公の過去と現在を配電盤のように「繋げる」役割をしている。この作品を初めて読んだのは、つばにやってくる、宿舎からの退去が迫る大学一年生の春休みだった。その頃には、文学の授業で取り上げられた夏目漱石「村上春樹の作品を片っ端から読んで、それはやがて羊と文学について研究するきっかけにもなった。

9月の半ば、大学周辺で金木犀の香りが立ちはじめた。今年は例年よりも金木犀の開花が早かったらしい。雨が降ったこともあって瞬間に散ってしまった。金木犀は匂いの強さのわりに姿が目立たないが、よく見ると小さな花の一粒一粒はまるで粘土細工で作られたかのように精緻な形をしている。花は華奢だが葉はがっしりと厚く、その不釣り合いな感じがまた面白い。



10月11日、つくば市天王台で

無限の星の静かなひかり
金木犀つややかな葉で抱え込む

(廣間菜月||比較文学類3年 写真も)

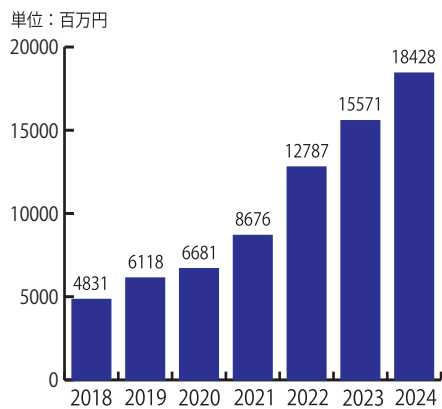


拡大するeスポーツと筑波大

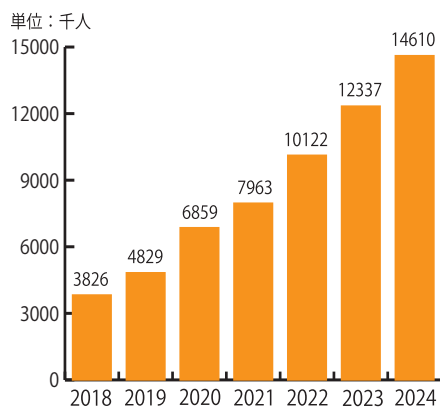
スポーツ科学の知見生かし可能性探る



日本eスポーツ市場規模



日本eスポーツファン数



(ゲーム情報誌「ファミ通」の資料を基に作成。2021年以降の数値は同年4月時点での予測)

普段できないシチュエート決められる

「eスポーツは、エレクトロニクス(電子)スポーツの略で、対戦型ゲームで勝負を競う。サッカーや野球など現実のスポーツをゲーム化したもの、架空のキャラクターを操り相手と戦う格闘ゲームなど多様な種類がある。」

eスポーツを調査研究する「KADOKAWA G.A.M.E. Linkage」(本社・東京都文京区)に、情報誌の「ファミ通」によると、2020年の世界

筑波大が大会開催

SIRCは20年7月から今年7月まで計3回、バーチャルサッカー大会「筑波大学eFootball大会」を開催した。

試合のルールは通常のサッカーと同じで、第3回大会には、8チーム16人が参加した。参加者はディスプレイ画面を見ながらコントローラーを操作し、選手を動かす。味方とはヘッドセットのマイクで会話しながら、プレーする。

2回連続で参加した諸戸雄一さん(比文2年)は、普段のサッカーではできないようなシチュエートが決められるのが気持ちいい。チームの

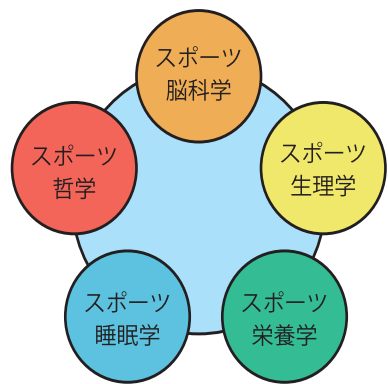


ヘッドセットで味方と会話しながら、プレーする学生=松井助教提供

eスポーツで筑波大が結んだ連携協定の概要

各機関の役割

機関	役割
筑波大	・研究ノウハウ、論文テーマの策定 ・研究に関する施設、場所の提供 ・学術機関連携、PRなど
茨城県	・いばらきeスポーツアカデミーとの連携 ・地元企業、団体連携など
NTT 東日本	・ICTの活用、提案 ・アライアンス先選定 ・地域での連携強化
NTT e-Sports	・ノウハウの提供 ・アライアンス先選定 ・実証フィールド提供 ・イベント受託など



研究に関わる学問分野

(取材を基に作成)

産学官で力合わせ

REJECTとの共同研究開始に先立つ今年1月、筑波大は茨城県、NTT東日本の子会社のNTT e-Sports(本社・東京都新宿区)、NTT東日本茨城支店(水戸市)と連携協定を締結した。脳科学や生理学、栄養学など筑波大が持つスポーツ科学の知見と、NTTが持つICTを生かして研究を進め、eスポーツの健全な発展と普及を目指す。具体的には「eスポーツのプレーや観戦が人間の心身に有益な効果をもたらすか」「eスポーツのプレーヤーのパフォーマンスを高めるスポーツ・栄養戦略」などの研究を行う計画だ。

NTT e-Sportsなどと連携

健全な発展と普及目指す

同協定を締結後、約50の企業などから共同で行ったという問い合わせが筑波大にあった。そのうちの食品や電子・事務機器、教育などの分野に精通する10以上の機関と今後共同研究などを進めていく予定だ。

国際産学連携本部長の金保安副学長(産学連携担当)は「筑波大のeスポーツ科学が国際的・学際的に発展し、茨城県・つくば市とともにeスポーツのメッカと呼ばれる一大拠点として成長することを目標としている」と語った。

世界市場は10億ドル規模

世界市場は約10億ドルで、23年には約16億ドルに達する見込みだという。

18年にインドネシアで開かれた第18回アジア大会では、eスポーツが公式種目となった。日本代表チームはサッカーゲーム「ウイニングイレブン」で優勝し、国内でeスポーツが注目される「KADOKAWA G.A.M.E. Linkage」(本社・東京都文京区)の情報誌の「ファミ通」によると、2020年の世界市場規模は約67億円で、23年には150億円を突破するとい

孤独解消にも期待

プロチームとも連携



松井崇助教

筑波大は今年9月、プロeスポーツチームを運営する「REJECT」(東京都文京区)と共同研究を始めた。チームに所属する約40人の選手に生活習慣や健康状態アンケートし、競技レベルやプレー中の生理的・心理的特性との関係を解明することを旨とする。筑波大スポーツインノベーション研究センター



eスポーツの練習をするREJECTの選手たち=REJECT提供

「eスポーツには不健康というイメージがあるが、長時間の練習で睡眠や栄養の管理が疎かになることが問題なのではないか。問題の解決にスポーツ科学を応用したい」と語る。

また、松井助教は「eスポーツが人々のコミュニケーションを生み、孤独を解消するためのツールとして役立てられるのではないかと期待を寄せている。eスポーツは、年齢や性別、障害の有無などを問わず楽しむことができるからだ。松井助教は、これまでSIRCが開催した「eFootball」大会の参加者の心拍数や唾液中のホルモンを分析してきた。その結果、eスポーツをプレーする選手の心拍数が、全力疾走と同程度の心拍数に上がる場合がある。男性ホルモンの分泌が試合に勝つと増える傾向がある」などが分かった。

また、松井助教はeスポーツの習熟度の違いに



第3回eFootball大会で実験の説明をする松井助教=松井助教提供

よって、プレー中に活性化される脳の部位が異なるの「eスポーツの上級者に見られる脳活動は、仕事や勉強などデスクワークの効率化にもつながるのではないか。どうすれば、こうした脳の活動を促せるかを明らかにしていきたい」と語る。

筑波大は研究ノウハウや研究テーマの策定▽茨城県は地元企業や団体との連携▽NTT e-Sportsはeスポーツイベントの受託▽NTT東日本はICT活用方法の提案―など、それぞれが役割分担して、取り組みを進める。

NTT e-Sportsの影澤潤一副社長は「eスポーツのネガティブな印象を払拭するためには学術的なエビデンスが必要だ。研究に参加することで、eスポーツの普及活動の際など、活動に説得力を持たせることにもつながる」と話した。

学生 e-sports 連盟



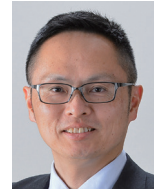
市場規模やファンの拡大が続くeスポーツだが、大學生の認知度はまだ低い。「ゲーム障害」への対応策も求められている。そんな中、「eスポーツ」に対するネガティブなイメージを「変えること」を掲げて活動しているのが「一般社団法人学生 e-sports 連盟」だ。

同連盟は2019年7月、京都大、同志社大、立命館大の学生を中心に設立された。現在のスタッフは約20人で、大学対抗戦の主催・運営やeスポーツの普及活動を行っている。



スマホゲーム「PUBG MOBILE」大学対抗戦を運営＝一般社団法人学生 e-sports 連盟提供

有識者の声



高橋義雄准教授

「eスポーツ」が今後、eスポーツが発展していくための課題は何か。eスポーツ産業について研究する高橋義雄准教授(体育系)に聞いた。

プラスイメージの伝達が普及の鍵握る

ただでなく試合もオンラインで行えることが、eスポーツの良さだ。だが、回線や機器などの環境は選手各自で整える必要があり、環境の差で不公平が生じる恐れがある。例えば、回線速度が遅いため、コマンド入力と出力の間に遅延が生じ、意図したタイミングで動作をさせられないこともある。この結果から、伝統的な読みやすさの指標でも、長めの小説を読解し



「世界を変えたい」

「世界を変えたい」で「筑波大であれば私の学びたい気持ちが無駄にならない」と思いました。そんな生意気な発言をした面接を経て、国際総合学類に合格した私。最後の模擬試験までE判定しか取ったことがなかったものの「あきらめなければ」という根拠も実現できる」という根拠のない自信がありました。そんな自信は入学後すぐに打ち砕かれましたが……。

Hello! 先端研究

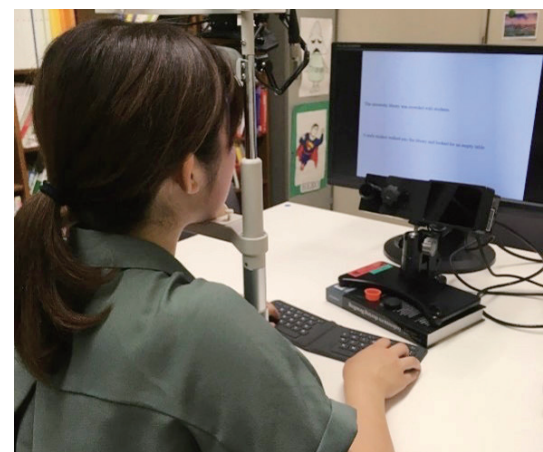


名畑目真吾助教

文章の難易度(読みやすさ)を正確に評価することは、言語教育において重要な課題だ。学習者の習熟度に合った教材の選定や開発につながるからだ。このため、国際的に広く使用されている英語については、読みやすさを評価するための方法(指標)が特に多く提案されてきた。

視線の動きで読みやすさ予測 学習者に合った読解教材開発へ

文章の難易度(読みやすさ)を正確に評価することは、言語教育において重要な課題だ。学習者の習熟度に合った教材の選定や開発につながるからだ。このため、国際的に広く使用されている英語については、読みやすさを評価するための方法(指標)が特に多く提案されてきた。



視線を計測される筑波大生＝名畑目助教提供

「世界を変えたい」で「筑波大であれば私の学びたい気持ちが無駄にならない」と思いました。そんな生意気な発言をした面接を経て、国際総合学類に合格した私。最後の模擬試験までE判定しか取ったことがなかったものの「あきらめなければ」という根拠も実現できる」という根拠のない自信がありました。そんな自信は入学後すぐに打ち砕かれましたが……。

視線の動きで読みやすさを予測できるかどうかを調べた。その際、読解中の視線の動きを計測することで、処理努力を評価した。名畑目助教は「視線計測では学習者の自然な読解状況を観察することができるとする。実験では、単語と文の長さや構文の複雑さなどをコンピュ

「世界を変えたい」で「筑波大であれば私の学びたい気持ちが無駄にならない」と思いました。そんな生意気な発言をした面接を経て、国際総合学類に合格した私。最後の模擬試験までE判定しか取ったことがなかったものの「あきらめなければ」という根拠も実現できる」という根拠のない自信がありました。そんな自信は入学後すぐに打ち砕かれましたが……。



国際協力 NGO 「ハンガー・フリー・ワールド」で活動

「世界を変えたい」で「筑波大であれば私の学びたい気持ちが無駄にならない」と思いました。そんな生意気な発言をした面接を経て、国際総合学類に合格した私。最後の模擬試験までE判定しか取ったことがなかったものの「あきらめなければ」という根拠も実現できる」という根拠のない自信がありました。そんな自信は入学後すぐに打ち砕かれましたが……。

「世界を変えたい」で「筑波大であれば私の学びたい気持ちが無駄にならない」と思いました。そんな生意気な発言をした面接を経て、国際総合学類に合格した私。最後の模擬試験までE判定しか取ったことがなかったものの「あきらめなければ」という根拠も実現できる」という根拠のない自信がありました。そんな自信は入学後すぐに打ち砕かれましたが……。

インカレ団体戦 史上初の6連覇

佐川はシングルス初優勝



団体戦とシングルの2冠を果たした佐川=バドミントン部提供

全日本学生選手権(インカレ)が10月15〜21日にロートアリーナ奈良(奈良市)などで開催され、筑波大女子が団体戦で優勝した。団体戦が中止された2019、20年を除き、14年から6連覇で、インカレ史上初の快挙だ。女子個人戦のシングルスでは佐川智香(体専3年)が初優勝し、栗原あかり(同2年)が3位に入った。女子ダブルスでも、大石悠生(同3年)・長廻真知(同1年)のペアが準優勝した。(大和祐菜)

バドミントン 龍谷大と対戦。第1シングルスで栗原が2-0でストレート勝ちし、第2シングルスも佐川が勢いに乗って2-0で勝利した。

優勝に手をかけて迎えた第1ダブルスには、染谷菜々美(同2年)・溝口なつめ(同3年)ペアが登場。だが、龍谷大の佐藤灯・植



5回から登板し、2安打無失点に抑えた吉本(10月23日、武蔵大戦で)

佐藤5失点で武蔵大に敗戦

吉本の好投生きず入れ替え戦へ

【バッティングバレス相石スタジアムひらつか(神奈川県平塚市)で天野隼太(比較文化学類2年、写真も。12面)に連続写真】首都大学野球秋季リーグ戦が9月11日から10月23日まで開催され、1部リーグの筑波大は3勝5敗2分で最下位の6位となった。今月13、14日、同2部リーグ優勝校の獨協大との入れ替え戦に臨む。

野球

筑波大はリーグ最終戦となった10月23日、武蔵大と対戦。勝利すれば、関東地区大学野球選手権の出場権を得るリーグ2位になる可能性があった。しかし、攻守共に振るわず2-5で敗れた。

先発は、先月のプロ野球ドラフト会議で埼玉西武ライオンズから2位指名を受けた佐藤隼輔(体専4年)。2回表に先制を許すなど、毎回走者を背負う苦しい投球となった。4回表無死満塁のピンチでは、捕逸で追加点を奪われ、その後も守備のミスが続いて計4点を献上した。

5回からは、今季の防御率が1.26と、チームを支えた吉本孝祐(同4年)が登板。9回まで2安打無失点に抑える好投を見せた。

5点を追う筑波大は8回裏、3者連続安打で無死満塁の好機を作ったが、あと一本が出ずに無得点。試合が動いたのは9回裏。8回に続く無死満塁で、代打、中嶋夏樹(同4年)の内野ゴロの間に三塁走者が生還し、1点を返した。続く片岡心(同4年)の犠飛で2点を上げるも、後続が倒れて試合が終了した。

川村卓監督(体育系・准教授)は「春季リーグ戦と同様、守備で頑張りたいところで頑張れず、攻撃でもあと一本というところで打てない、ちぐはぐな試合が多かった。(来シーズン)は、それぞれの選手が置かれた状況で自分の立場を把握し、臨機応変にプレーしてほしい。まずは入れ替え戦に備えて練習していきたい」と話した。

箱根届かずも着実に成長

「練習こなせたこと自信に」

【一面参照】2020年に26年ぶりに箱根駅伝に出場し、新たな歴史の扉を開いた筑波大駅伝チーム。2年ぶりの箱根駅を目標とした大会では13位に終わり、本戦出場はかなわなかった。だが、チームトップの福谷颯太(体専3年)が日本人8位の走りを見せて関東学生連合チームへの選出が濃厚となるなど、来年に期待を抱かせた。

陸上

5月の関東インカレでは小林竜也(同3年)が1500mで7位に入賞。9月の日本インカレでは、駅伝主将の杉山魁声(同4年)が5000mで5位入賞、松村匡悟(同3年)は3000m障害で3位となり、表彰台に立った。他に

も、多くの選手が自己記録を更新するなど、着実にチーム力は上がっていた。その中でも、福谷は4月の記録会で1万1千を自己ベストを出した。福谷にとってはチーム7

ストで走り、関東インカレにも初出場した。7月には5000mも14分12秒87の自己ベストを出した。

来年は福谷やチーム3位で走った小林、予選会出走はならなかった副主将の岩佐一乘(同3年)ら、1年時に箱根駅伝を経験した世代が最終学年となる。

関東学生連合チーム選出の可能性が高い福谷は「本戦に出場し、その経験をチームメイトに伝えたい」と意気込んだ。



練習中の筑波大駅伝チーム=陸上競技部提供

法政大戦 無失点で勝利

リーグ5位インカレ出場決定

サッカー

関東大学リーグ戦の後期が7月31日から開催されていく。1部で戦う筑波大は、前期を12大学中7位で終えたが、後期リーグ初戦の国士舘大戦は6-1で快勝。その後も早稲田大戦、順天堂大戦で連勝するなど好調で、10月17日の第20節でも法政大に2-0で勝利した。10月31日現在で5位に順位を上げ、全日本大学選手権(インカレ)出場が決まった。

法政大とは9月の総理大臣杯準決勝でも対戦し、0



シュートを放つ森海渡=筑波大学蹴球部提供

1-4で敗れたが、今節の筑波大は試合開始直後から積極的な攻めを見せた。開始1分には森海渡(体専3年)が相手ゴール前でフリーキックをもらい、フリーキックを獲得。山原恰音(同4年)が直接ゴールを狙うが、枠を外した。同20分には相手のパスを森海渡(同3年)がヘディングでカットし、更にパスをつないで角尾志郎(同1年)がミドルシュートを放ったが、得点とはならなかった。

同30分からは、互いにゴール前まで迫る場面もあったが、両チーム共に

に、得点ランキング1位の森海渡がヘディングで合わせて先制。同74分には法政大からゴール前でポレイシュートを打たれるも、キーパーの高山沙生(同2年)が両手で止めた。同77分には途中出場した小林幹(同4年)のクロスパスを森海渡が受けて、ゴール正面の竹内崇人(同1年)にパス。竹内はディフェンダー2人をかわしてシュートを決め、2-0で試合は終了した。

2得点に絡んだ森海渡は、「後半はボールを保持し、主導権を握れた。少ないシュートの機会を、しっかりものにできた。ディフェンス陣の体を張った守備や、ボールを失った後の切り替えの速さが勝負を分けたと思う」と話した。

小井土正亮監督(体育系助教)は、「前回完敗した相手だったが、勇気を持ち、チャレンジャー精神で戦ったことが良かった」と振り返り、「今節のようにチームが同じイメージを共有し、一つになって戦えば、今後も良い試合ができると思う。一戦必勝で臨みたい」と意気込んだ。(細井真生)

広告掲載欄

(紙面のみでの掲載となります)

広告のお問い合わせは

電話 029 - 853 - 6699

Eメール shinbun@un.tsukuba.ac.jp

(筑波大学新聞へのご意見・お問い合わせも上記までお願いいたします)

男女同時優勝は4年ぶり 団体戦で関東制す



決勝の代表者戦で中央大の諸岡と対戦する笠= LET'S KENDO 提供

団体戦で争う関東学生優勝大会が9月19日、とびろきアリーナ(川崎市中原区)で開催され、筑波大が2019年に続き、優勝を果たした。昨年の同大会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止されていた。また、同23日に東京武道館(東京都足立区)で開催された関東女子学生優勝大会では、筑波大女子が4年ぶりに優勝した。男女同時の優勝は17年以來4年ぶり。香田秀部長(体育系・教授)は「出場校が多く、レベルも高い関東大会で優勝するのは難しい。男女ともに優勝するのは更に難しく、よく頑張ってくれた」と語った。

剣道

男子 決勝では中央大と対戦。先鋒の黒川雄大(体専3年)は鋭いメンを繰り出すも、相手に下ウを連取され二本負けを喫した。次鋒戦では、米田好太郎(同2年)が、相手の隙を突いてメンを決め、一本勝ち。五将戦から副将戦までの4戦は引き分けが続いた。大將戦では、森山竜成(同4年)が相手の動きを讀んでコテを先取した。その後、相手の手元が上がった瞬間にコテを再び決め、二本勝ち。筑波大の優勝を決めた。

同じく中央大。1勝1分1敗で迎えた副将戦では、笠日向子(体専1年)が上段に構える相手の動きが止まった瞬間に、鋭いコテを決めた。大將戦では、大津ももか(同4年)が、今年3月に開催された全日本女子選手権で優勝した諸岡温子と対戦した。大津は積極的な攻め込むも、コテを打たれ惜しくも一本負け。勝者数と総取得本数が同じため、勝負の行方は一本勝負の代表者戦に持ち込まれた。代表者戦では、笠と諸岡が互いに攻めるも、決め手を欠いた。だが、開始約10分、笠が相手に飛び込んでメンを決め、優勝に導いた。

準決勝では、国土館大と対戦。先鋒の黒川雄大(体専3年)は、コテで一本勝ちを決めた。次鋒戦では、田城徳光(同2年)がコテを先取るも、直後にメンを取り返され、引き分けに終わった。続く五将戦では、近本太郎(同4年)がコテとメンを連取され、二本負けを喫した。一方、中堅の黒黒木祐介(同3年)は、相手がメンを打つと前に出たところ、下ウを決め、一本勝ちした。三將戦、副將戦は引き分けとなった。大將戦では、森山竜成(同4年)が、つばぜり合いになった瞬間に引きメンを先取された。取り返そうと積極的に攻めるも、手元が上がった瞬間にコテを決められ、二本負けとなった。勝者数は両者2-2で並んだが、取得本数は国土館大が2本多く、筑波大は惜しくも3位となった。

男子 決勝では、森山竜成(同4年)が、つばぜり合いになった瞬間に引きメンを先取された。取り返そうと積極的に攻めるも、手元が上がった瞬間にコテを決められ、二本負けとなった。勝者数は両者2-2で並んだが、取得本数は国土館大が2本多く、筑波大は惜しくも3位となった。

女子 決勝で対戦したのは男子と同じく中央大。1勝1分1敗で迎えた副将戦では、笠日向子(体専1年)が上段に構える相手の動きが止まった瞬間に、鋭いコテを決めた。大將戦では、大津ももか(同4年)が、今年3月に開催された全日本女子選手権で優勝した諸岡温子と対戦した。大津は積極的な攻め込むも、コテを打たれ惜しくも一本負け。勝者数と総取得本数が同じため、勝負の行方は一本勝負の代表者戦に持ち込まれた。代表者戦では、笠と諸岡が互いに攻めるも、決め手を欠いた。だが、開始約10分、笠が相手に飛び込んでメンを決め、優勝に導いた。

男子 決勝では、森山竜成(同4年)が、つばぜり合いになった瞬間に引きメンを先取された。取り返そうと積極的に攻めるも、手元が上がった瞬間にコテを決められ、二本負けとなった。勝者数は両者2-2で並んだが、取得本数は国土館大が2本多く、筑波大は惜しくも3位となった。

女子 決勝で対戦したのは男子と同じく中央大。1勝1分1敗で迎えた副将戦では、笠日向子(体専1年)が上段に構える相手の動きが止まった瞬間に、鋭いコテを決めた。大將戦では、大津ももか(同4年)が、今年3月に開催された全日本女子選手権で優勝した諸岡温子と対戦した。大津は積極的な攻め込むも、コテを打たれ惜しくも一本負け。勝者数と総取得本数が同じため、勝負の行方は一本勝負の代表者戦に持ち込まれた。代表者戦では、笠と諸岡が互いに攻めるも、決め手を欠いた。だが、開始約10分、笠が相手に飛び込んでメンを決め、優勝に導いた。

男子 決勝では、森山竜成(同4年)が、つばぜり合いになった瞬間に引きメンを先取された。取り返そうと積極的に攻めるも、手元が上がった瞬間にコテを決められ、二本負けとなった。勝者数は両者2-2で並んだが、取得本数は国土館大が2本多く、筑波大は惜しくも3位となった。

飯塚池江破り優勝

100メートルバタフライでインカレ

大学日本一を決める日本学生選手権(インカレ)が10月7〜10日に東京辰巳国際水泳場(東京都江東区)で行われた。女子100メートルバタフライでは、飯塚千遥(体専3年)が58秒62で優勝した。東京五輪の競泳女子代表、池江璃花子(日本大)を0.01秒差で振り切った。また、女子100メートル平泳ぎで横田早桜(体専4年)、男子100メートル平泳ぎで間島亮太郎(同3年)がそれぞれ4位に入るなど、筑波大は計11種目で13人が入賞した。しかし、女子は総合9位、男子は同11位となり、8位までに与えられる来年のインカレ団体出場権を逃した。

水泳競技

飯塚は池江と同じスイミングクラブ「ルネサンス」に所属し、高校までその跳やメキシコで一緒に練習し、

子供に通っていた。2人は、たごもあつた。しかし、

同学年で、高校時代には、飯塚が池江に勝ったのは今大会が初めてだ。

レース前半50メートルはトップの池江が唯一、26秒台で折



写真8 スポニチ/アフロ

優勝し、表彰台に立つ飯塚(中央)

り返し、飯塚は27秒75で8人中6番手につけた。だが、飯塚は激しい追い上げて、ゴール直前で池江をかわした。「優勝できてうれしい。隣のレーン

の池江選手を視界に捉えていた。予選を2位通過し、ライバルを意識して泳げるレーンでスタートできたことが良かったと振り返る。今後について飯塚は「今回は目標の57秒台に届かなかった。たまたま勝ったと言えないように、さらに実力をつけていきたい。来年3月の国際大会日本代表選手権考査では、日本水泳連盟が定める派遣標準記録(57秒79)を突破し、日本代表に内定したい」と話した。スタート時の飛び込み姿勢の改善などにより、前半のスピードアップに重点的に取り組むという。

な、優勝を逃した。同じく中央大。1勝1分1敗で迎えた副将戦では、笠日向子(体専1年)が上段に構える相手の動きが止まった瞬間に、鋭いコテを決めた。大將戦では、大津ももか(同4年)が、今年3月に開催された全日本女子選手権で優勝した諸岡温子と対戦した。大津は積極的な攻め込むも、コテを打たれ惜しくも一本負け。勝者数と総取得本数が同じため、勝負の行方は一本勝負の代表者戦に持ち込まれた。代表者戦では、笠と諸岡が互いに攻めるも、決め手を欠いた。だが、開始約10分、笠が相手に飛び込んでメンを決め、優勝に導いた。

田中グランドスラム制す

国際大会初優勝

柔道

柔道のグランドスラム(GS)パリ大会が10月16、17日にパリで開催され、男子66キロ級に出場した田中龍馬(体専2年)が優勝した。決勝では藤阪泰恒(パーク

24)に一本勝ちした。日本の東京五輪代表は出場していない。田中はシニアの国際大会に出場するのは初めて。3年後のパリ五輪と同じ会場で、有観客での開催に「国際大会の雰囲気を感じられ

そうとしたところを浮腫で一本を決めた。田中の今大会のテーマは「我慢する柔道」だった。力の強い外国人選手に対し、序盤から力勝負しては力負けしてしまう。攻撃をかわしながら相手の体力が落ちるのを待ち、勝負を決める試合運びを狙った。

だが、我慢の柔道は、消極的にも受け取られかねない。事実、今大会は5試合

スポーツ顔

ダンス

舞い上がった体が着地した瞬間、「ドン」と力強い着地の音が響く。観客の注意を引くための工夫だ。167センチの身長を生かして、体を大きく使うダイナミックな踊りと、幼さの残る顔のギャップが印象的なダンスだ。

幼少期から、両親がよく観劇に連れて行ってくれた。7歳の時、新国立劇場バレエ団の「くるみ割り人形」を見て、自分もクラシックバレエを習い始めた。声を使わずに表現できる面白さ、舞台に立つと別人のように輝くバレエダンサーたちの姿に魅了された。

中学卒業後は「バレエを生かしながら、より多様な表現をしたい」と、日本女子体育大2階堂高校に進学。ダンス部に入り、モダンダンスの群舞を中心に、ジャズダンス

いで中止になった。集団練習ができないことに加え、新たな大会用の振り付けを思いつけない苦しさや重なり、「自分はこのこにいる意味があるのか」と思い悩んだ。

仲間たちと心を合わせることの重要性を知って臨んだ今春の全国舞踊コンクール。チームは群舞ジュニア部で1位の栄光をつかんだ。



全国舞踊コンクール群舞ジュニア優勝

浅賀すず (体専1年)

「自分らしさをもっと表現したい」という思いがあった。普通なら踊らないような場所で踊ること、ありきたりをはき取りたい。最近風の中や、暗闇を利用して踊るなど、日常とは異なる環境での即興ダンスにも挑戦している。また、学生宿舎の居室で踊っている動画をSNS(ネット交流サービス)の振り付けを覚え、練習に付き合ってくれた。「自分を支えてく

「愛のあるダンサー」を目指して

「愛のあるダンサー」を目指して

目指して

大きな目標の実現に向けて、これからも挑戦を続けていく。(太田碧二第2類1年、写真は本人提供)

筑波キャンパス産の米販売

利益の一部 教育や研究の支援に

筑波キャンパス内の農場で収穫された新米が9月から、カスミ筑波大学店など7市とつくばみらい市のスーパー「カスミ」計12店舗で、数量限定販売されている。栽培したのは筑波大の「つくば機能植物イノベーション」研究センター次世代農業研究部門(「T-PIRC農場」)で、完売した品種も出るなど、人気は上々だ。1袋当たり100円が販売代金から筑波大に寄付され、教育や研究活動のために使われる。

(山田優芽)

筑波キャンパス産の米の販売は、T-PIRC農場をより多くの人に知ってもらおうと、昨年からは、同農場が生産した米以外の農産物も、「Tばーく」ブランドとして、カスミ筑波大学店で販売されて

いる。今年の新米は、9月18日に「一番星」、10月9日に「ふくまる」の販売が始まり、11月には「にじのきらめき」が店舗に並び、「一番星」は約1カ月で完売、「ふくまる」も約3週間で完売した。価格はいずれも2千950円(税込)だ。今回販売された3品種の米は、筑波大での教育と研究のためのものである。「ふくまる」と「にじのきらめき」は、農作業の労力を減らすため、ドローンで水田に種をまき、農薬散布もドローンで行った。生物資源学類生が実習授業で、それらの様子を見学した。

「一番星」は茨城県のオリジナル米で高温に強く、生育が早い極早生品種だ。「にじのきらめき」は農業・食品産業技術総合



店頭並ぶ筑波キャンパス産の米「一番星」=事業開発推進室提供

研究機構(農研機構)が2018年に開発した品種で、高温に強く収量が多い。T-PIRC農場の直井弘典技術職員は「将来的にはコシヒカリに取って代わると言われる期待の品種だ」と語る。

この2品種をT-PIRC農場が栽培するのは初めて。茨城県のオリジナル米「ふくまる」はドローンによる直まきに適していることから、昨年に続き栽培された。

米の包装デザインは、筑波大の学生団体「ツクリエイト」の田中陽さん(芸専3年)と多田田風さん(芸専3年)が手がけた。「一番星」のデザインを手がけた田中さんは「新米の爽やかな感じを出したかった。袋の角に円を入れ、袋が星の形にたどられるようにした」と語った。

直井技術職員は、「安全安心で良いものを届けたい」という気持ちを第一に品種を選定し、丁寧に栽培して

きた。販売までには、包装デザインを手がけた学生や教員、事務職員、技術職員など多くの人が関わっている。首都圏で唯一、大きな農場と校舎が同一キャンパス内にあるという立地条件の良さ、筑波大の農場の魅力と伝統も知ってほしい」と話した。

直井技術職員は、「安全安心で良いものを届けたい」という気持ちを第一に品種を選定し、丁寧に栽培して

きた。販売までには、包装デザインを手がけた学生や教員、事務職員、技術職員など多くの人が関わっている。首都圏で唯一、大きな農場と校舎が同一キャンパス内にあるという立地条件の良さ、筑波大の農場の魅力と伝統も知ってほしい」と話した。

オンラインスポデー開催

秋季スポデーに向けたプレ大会

「オンラインスイッチ」のゲームソフトを使って筑波大生らがトーナメントを戦う「オンラインスポーツ・デー」(主催・筑波大学生担当副学長)が9月23、24日にオンライン開催された。11月の第45回秋季スポーツ・デーではeスポーツが初導入される予定で、そのプレ大会との位置付けだ。スポーツ・デー学生委員会が運営し、個人戦、団体戦合わせて延べ約1000人の学生・教員がオンライン対戦を楽しんだ。参加者の反応も好意的で、定期的な開催を望む声も上がった。(及川翔輝)

使用されたソフトは「プロペラ配信」で、最大で約70人が視聴した。録画は、教育情報システム「TWINNS」の掲示板の「1次大学から学生へのお知らせ」に掲載されたURLから見ることができ、10月26日時点で1300回再生されている。学生委の佐藤慶一さん(又創3年)は「人気ソフトで、一試合の対戦時間が短い。多くの人が参加しやすいと考え、採用した」と話す。23日の個人戦は学生47人が、24日のチーム戦には18チーム54人の学生・教員が参加した。大会の様子はYouTube

でも受け、約2カ月かけて準備を進めた。スポーツ・デーは春と秋の年2回開催された。昨年5月の第44回春季スポーツ・デーからeスポーツが導入されることになっていて、コロナ禍のために大会そのものが3回連続で中止となり、eスポーツも実施できずにいた。

学生委が今回の参加者にアンケートしたところ、28人から回答があり、イベントについて97%が「非常に満足している」「満足している」と答えた。学生委の佐藤さんは「ス

ポーツ・デーにeスポーツを取り入れることで、運動が得意な人に限らず、さまざまな人が楽しめる行事にしていきたい。プレ大会には、回線トラブル時の対応策などを細かく定め、臨んだ。2年生委員にとっても運営を経験する良い機会になった」と話す。

今年の秋季スポーツ・デーは11月20、21日の開催で、「大乱闘スマッシュブラザーズSPECIAL」を使用するチーム戦がeスポーツとして初めて正式種目になった。23チーム69人がエントリーしている。

記録表の確認や会場での検温・消毒を実施し、対面の開催を予定している。会場は中央体育館の会議室で、備付けのスクリーンにプロジェクターで画面を映し出す。

井隆義教授(人社会)が登壇する。今後シリーズ化し、年度内に歴史、文学、哲学など多様な分野で、まずは計10の動画をYouTubeに上げる予定だ。

同チャンネルは、人社会系社会連携推進室が企画した。同室長の五十嵐沙千子准教授(同)が聞き手となり、人社会の教員と楽しみながら話を聞き出す。関根系長の話は「サブシテナス経済」と呼ばれる、市場だけに頼らない太平洋諸島の自給自足の活動がテーマ。国際協力機構(JICA)の青年海外協力隊で同諸島を訪れ、現地の人々の生活とは異なる西洋的価値観の下で開発が進む状況に疑問を持ったことがきっかけだ。

「現地の全てを好きになれ」というJICAの現地事務所長の言葉が、今も印象に残る。第2弾の公開は11月で、犯罪社会学をテーマ

丸善雄松堂(本社・東京都港区)が運営する筑波キャンパス内の6店舗の書店のうち第一、第三、春日の各エリアの3店舗が11月から休業した。

学生生活課によると、コロナ禍で書籍の売上低迷が続いており、業績改善のために店舗を縮小し、次年度12面に関連写真

丸善雄松堂(本社・東京都港区)が運営する筑波キャンパス内の6店舗の書店のうち第一、第三、春日の各エリアの3店舗が11月から休業した。

学生生活課によると、コロナ禍で書籍の売上低迷が続いており、業績改善のために店舗を縮小し、次年度12面に関連写真

丸善雄松堂(本社・東京都港区)が運営する筑波キャンパス内の6店舗の書店のうち第一、第三、春日の各エリアの3店舗が11月から休業した。

学生生活課によると、コロナ禍で書籍の売上低迷が続いており、業績改善のために店舗を縮小し、次年度12面に関連写真

丸善雄松堂(本社・東京都港区)が運営する筑波キャンパス内の6店舗の書店のうち第一、第三、春日の各エリアの3店舗が11月から休業した。

丸善雄松堂(本社・東京都港区)が運営する筑波キャンパス内の6店舗の書店のうち第一、第三、春日の各エリアの3店舗が11月から休業した。

学生生活課によると、コロナ禍で書籍の売上低迷が続いており、業績改善のために店舗を縮小し、次年度12面に関連写真

丸善雄松堂(本社・東京都港区)が運営する筑波キャンパス内の6店舗の書店のうち第一、第三、春日の各エリアの3店舗が11月から休業した。

学生生活課によると、コロナ禍で書籍の売上低迷が続いており、業績改善のために店舗を縮小し、次年度12面に関連写真

丸善雄松堂(本社・東京都港区)が運営する筑波キャンパス内の6店舗の書店のうち第一、第三、春日の各エリアの3店舗が11月から休業した。

学生生活課によると、コロナ禍で書籍の売上低迷が続いており、業績改善のために店舗を縮小し、次年度12面に関連写真

丸善雄松堂(本社・東京都港区)が運営する筑波キャンパス内の6店舗の書店のうち第一、第三、春日の各エリアの3店舗が11月から休業した。



筑波発! キャンパスことば

たるぎけ「樽酒」(名) 雙峰祭に協賛する地元酒造から提供される地酒。本来、学内は飲酒が禁止されているため、身分証を提示した上で決められた区域で飲むことができる。

生も少数派になりつつあるのかもしれない。雙峰祭では、20歳以上の来場者に地酒を無料で提供する「樽酒唯一の企画だ。樽酒振る舞いは、茨城の美味しい酒を多くの人に知ってもらうことが目的で、雙峰祭の草創期から開催されている。酒は、県内の酒造会社から提供されている」と話している。

2019年には42回目を迎えて、21日から計2種類の日本酒が提供された。筑波大と酒造会社コラボした純米吟醸酒「桐の華」も振る舞われ、3日間で2000人以上が訪れた。(西村大祐)人文学類4年

催事

11月16日(火)・21日(日)に第37回MC展が茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開催される。MC展は筑波大学院の人間総合科学術院の博士前期課程で芸術を専攻する学生らが制作した洋画・版画・日本画の作品を展示する。開催時間は午前9時30分から午後5時までで、最終日は午後2時で閉館。入場は無料。問い合わせ029-855-2733

特別展「時を数む 紀年・暦法・元号」

11月8日(月)〜12月3日(金)に、附属図書館特別展「時を数む 紀年・暦法・元号」が中央図書館1階貴重書展示室で開催される。同展では、古代に始まる時を刻む営為の成立から、現代日本における元号「令和」に至る紀年・暦法をめぐり、文化を、附属図書館所蔵の貴重書を通じて紹介する。また、これまで資料的価値が知られていない和装古書・一般図書も厳選して展示する。山澤学准教授(人社会)による特別講演動画も特別展のウェブサイトで配信される予定だ。

人社チャンネル

筑波大人文社会系の魅力ある教員を動画で紹介する「筑波大学人社チャンネル」が、YouTube上で公開された。9月19日に公開された初回は、文化人類学が専門の関根久雄・人文社会系長が登場。30年以上もノンストップでフィールドワークを続けてきた経緯を、自らの体験を交えて語った。第2弾の公開は11月で、犯罪社会学をテーマ

動画で魅力発信

筑波大人文社会系の魅力ある教員を動画で紹介する「筑波大学人社チャンネル」が、YouTube上で公開された。9月19日に公開された初回は、文化人類学が専門の関根久雄・人文社会系長が登場。30年以上もノンストップでフィールドワークを続けてきた経緯を、自らの体験を交えて語った。第2弾の公開は11月で、犯罪社会学をテーマ

筑波大人文社会系の魅力ある教員を動画で紹介する「筑波大学人社チャンネル」が、YouTube上で公開された。9月19日に公開された初回は、文化人類学が専門の関根久雄・人文社会系長が登場。30年以上もノンストップでフィールドワークを続けてきた経緯を、自らの体験を交えて語った。第2弾の公開は11月で、犯罪社会学をテーマ

筑波大人文社会系の魅力ある教員を動画で紹介する「筑波大学人社チャンネル」が、YouTube上で公開された。9月19日に公開された初回は、文化人類学が専門の関根久雄・人文社会系長が登場。30年以上もノンストップでフィールドワークを続けてきた経緯を、自らの体験を交えて語った。第2弾の公開は11月で、犯罪社会学をテーマ

うつ病疑いの学生増加

コロナ禍が心の健康に影響か

コロナ禍は大学生のメンタルヘルスにも影響を与えている。筑波大の定期健康診断の結果で、うつ病の疑いがあると判定された学生は約1割に上り、例年の2倍となった。2020年度の国立大学学部の自殺率は、過去6年で最多となったという調査結果もまとまった。筑波大の学生相談室長の杉江征教授(人間系)は「臨床心理士や公認心理師の専門資格を持ったカウンセラーが相談にのる。授業や人間関係、心身の不調など様々な内容でも気軽に相談してほしい」と呼び掛けている。(梅津拓人)比較文化学類3年 寺尾優汰、北川瑠菜、4面に記者の声

孤立と経済不安が背景

一般社団法人「国立大学保険管理施設協議会・メンタルヘルス委員会」が今年8月に公表した調査結果によれば、昨年度は国立大学82校の学部生43万3032人、自死率は学生10万

人のうち、76人(男性58人、女性18人)が自殺、または自殺とみられる死因で亡くなった。自殺率は学生10万人あたり17.6人で、過去6年で最多だった。同委員会の委員長を務める茨城大保健管理センター長の布施泰子教授は「コロナ禍で活動が制限されたことに加え、アルバイトが減少し、収入が減るなど経済的不安が影響しているのでは」と分析する。同委員会は今後、学生の自殺につながる背景因子を詳しく分析する計画だ。布施教授は「学生を孤立させない。経済的に困っている学生を見落とさない。そうした支援が大学には求められる」と指摘した。

うつ病の疑い2倍に

筑波大の保健管理センターは昨年度の定期健康診断を実施した。回答期間は昨年5月末から3カ月間で、学群生の約8割、大学院生の約6割が回答した。

このうち、うつ状態にあるかどうかを判定する質問を分析した結果、回答者の約10%で、うつ病の疑いがあると判定された。これは例年の約2倍だという。同センターで精神科の診療を担当する白鳥裕貴講師(医学医療系)は「例年と違い、ウェブでの実施で、回答期間も長かった。こうした違いが回答に影響を与えた可能性はあるが、コロナ禍で対面でのコミュニケーションが制限され、孤立する学生が多かったことも確かだ」と説明する。同センターは、うつ病の疑いがあると判定した学生に対し、メールで呼び出しをかけている。昨年度は1219人中113人が呼び出しに応じて受診した。同センターでの診察は有料だが、呼び出しで受診した場合は無料になる。一方、同センター精神科を有料で学生が受診した件数は19年度が延べ2318件、20年度は同2118件とやや減少した。同センター副所長の太田

悩みや相談に対応する筑波大の窓口

総合相談窓口
・臨床心理士や公認心理師の専門資格を持つカウンセラーが対応、「どこに相談したらいいかわからない」という場合も適切な相談窓口を案内する
・予約不要
・相談は電話のみ(11月1日時点)
= スチューデントプラザ窓口(029-853-8430)
= 春日エリア窓口(029-859-1207)

学生相談室
・臨床心理士や公認心理師の専門資格を持つカウンセラーが継続的に相談に対応
・電話予約が必要(029-853-2415)
・相談は原則オンラインか電話だが必要に応じて対面も実施(11月1日時点)

保健管理センター(精神科)
・気分の落ち込みや意欲低下、不眠、食欲不振など心の健康に関連する問題について精神科医が相談・治療に応じる
・電話予約が必要(029-853-2411)

(取材を基に作成)

チュートリアル教育で意見交換

学生・教職員がオンラインで

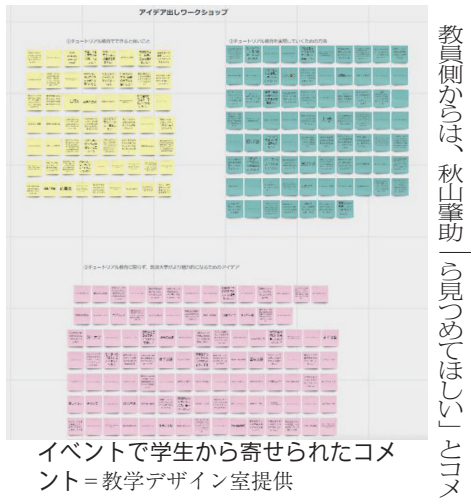
筑波大が導入を目指すチュートリアル教育について、各学生1人にチューター教員を配置する。チューター教員は、学生の関心に応じて、学びべき分野や話を聞くべき教員などを紹介し、その学びを後押しする。筑波大では昨年、指定国立大学法人に指定された際に、2040年度までの全面導入を掲げている。イベントには学生30人、教職員25人が参加し、坪内

教授がまず、チュートリアル教育導入の経緯や狙いなどについて説明した。続いて、学生側がチュートリアル教育に対する期待や要望を語った。鈴木斗音さん(資源1年)は今年、1年時から卒業研究のような活動ができる「先導的研究者体験プログラム(ARE)」に取り組み、トマトのゲノム編集について研究した。

深秀准教授(同)は「八橋禁止やオンライン授業によってつづはいる」という自体が減ったことが理由だと考えられる」とした上で、「一方通行の授業が多く、興味がない」「パソコンの画面を見ていてしんどい」など、オンライン授業に関心を持っていないという相談が多い」と話した。

気軽に相談を

筑波大学生相談室や総合相談窓口は、学生からの相談を無料で受け付けている。学生相談室は予約制で、担当者が継続的に相談に対応する。総合相談窓口は予約が不要で、「どこに相談したらいいかわからない」といった質問もできる。また、学生生活課では、経済的に困窮した学生からの相談にのっており、一時貸付金や筑波大独自の奨学金「つくばスカラシップ」の窓口となっている。同課の担当者は「コロナ禍で、奨学金利用の相談が増えた。食料支援の参加者も多く、潜在的に経済不安



イベントで学生から寄せられたコメント=教学デザイン室提供

研究の進め方をなかなか教員に相談できず、悩んだ経験から「学生と1対1で話ができるチューター教員がいれば良かった」と話した。教員側からは、秋山肇助

教(人社系)が「大学は高校と違い、自分で学びをデザインする場だ。チュートリアル教育を生かすには、大学で何を学びたいのかから見つけてほしい」とコメントした。イベントの参加者は、オンラインを活用し、匿名でコメントを投稿することができた。「チューターの先生と気軽に会える雰囲気作りが必要だ」など、約1090件の投稿があった。

土井助教は「想像以上に多くのコメントが来て驚いた。率直な学生の本音が聞けて良かったと思う。今後、学生の声を聞きながら、チュートリアル教育の検討を進めていきたい」と話した。(北川瑠菜)

石の広場にフォトパネル 卒業生記念残す

9月期の筑波大学卒業式・大学院学位記授与式が行われた9月24日、第三エリアの石の広場に、空撮したつくばキャンパスの全景の写真パネル(縦2枚、横2枚)と筑波大のロゴをプリントしたパネル(縦2枚)を抱える学生は相当数いるのではないかと、苦しむ学生を見守るように、支援を行いたい」と話した。

緊急事態宣言が解除された10月中旬の午後7時前、対面での活動を再開した、「つくばお笑い集団DONPAPA」のメンバー13人が、2A棟の教室に集った。「来年2月に都内で開かれるお笑いサークル団体戦「NOROSHI」に参加します」副代表の原大貴さん(メ創3年)が口を開くと、メンバーから拍手と歓声が上がった。「NOROSHI」は、お笑いサークルナンバー1を決める全国大会で、お笑いを追求する学生たちの集大成の場。漫才とコント、1人で演じるヒンの三つを各サークルが披露し、順位を競



昨年、今年度はコロナ禍で中止となっていた。3年ぶりの開催に、メンバーからは「このお笑い芸人みたいなネタはどうか」「メンバーのキャラを生かしたネタが良い」などの意見が相次ぎ、戦

略会議が早速始まった。原さんは「コロナ禍でメンバーの大会への参加の意欲が高まった。NOROSHIにはレベルが高く、独創的なネタを披露する大学生芸人が多く参加する。とても刺激に

現在の部員は22人。このうち20人が演者として漫才やコントに取り組み、残り2人は裏方として演者を支えている。主な活動は学内外での楽しいライブ開催や、お

7月にオンライン配信した。代表の池田秀徳さん(生物3年)は「活動が制限され、昨年度はサークルの存続の危機を感じたと振り返る。今年度は『できることをしよう』とSNS(ネット交流サービス)を活用し、新入生向けの動画やネタ動画を発信し続けた。4~8月にかけては、『いきなりステーキの逆は、ゆっくり、生魚などの一発ギャグを披露する動画をツイッターで連続投稿。新入生向けに筑波大を案内する動画もユーチューブで配信した。笑いに包まれたキャンパスが戻る日待ち遠しい。(田中千裕)生物学類1年

笑いで自分を表現したい

笑いで自分を表現したい。笑いの良さを。そして、お笑いは各自の個性や自己を表現するツールでもある」と池田さん。



オンラインライブで漫才するメンバー=つくばお笑い集団 DONPAPA 提供



フォトパネルの前で記念撮影する卒業生=システム情報エリア支援室提供

生に制限された。これを受け、イベントが企画された。石の広場では、手指の消毒とソーシャルディスタンスの確保を呼びかけるポスターを掲示するなどの対応が取られた。同支援室の担当者は「学生の笑顔が見られて良かった。卒業という節目の思い出になれば」と話した。パネル設置は、8月に中止が決まっていた秋入学式の参加予定者を対象に、10月1日にも実施予定だったが、台風16号の影響で中止となった。

システム情報工学研究群のウェブサイトに(https://www.stie.tsukuba.ac.jp/events/2021/09/13/69927)で、写真パネルの画像がダウンロードできる。(小菊日怜)社会学類2年

Who's Who?

日本画の鑑賞は制作当時の照明環境でと訴える

廣瀬 由子 さん (比文4年)



展示の参考にした書籍を持つ廣瀬さん=本人提供

「日本の美術品は、ろうそくの明かりなど、作品が制作された当時と同じ照明環境で展示されるべきだ」と持論を述べた。その中で「制作者の趣向や本意に描きたかったものが見えてこない」と考えるからだ。将来は博物館の学芸員となり、持論を実現する夢を描く。

中学3年生時、東京国立博物館でのワークショップに参加したが、持論が生まれるきっかけになった。安土桃山時代の絵師、長谷川等伯の「松林図屏風」(紙本墨画、国宝)の複製画を、ろうそくを模した揺らぎのある明かりで鑑賞した。「松の木が揺れ、風が吹き抜けているように見えた。明かり次第で展示空間が変わると実感した。その後、高校の国語の教科書で明治の文豪、谷崎潤一郎の随筆「陰翳礼讃」に出会った。日本の文化は陰翳の中でこそ映える芸術を作り上げてきたという主張が、自分の考えと同じだと知り、持論を「陰翳礼讃」と称するようになった。

だが、作品の細部が見えにくくなるため、美術館や博物館の通常展示では、揺らぐ光を照明に使うことはないのが実情だ。来館者は照明の違いをどう感じているのかわからなくなり、美術館に掛け合っ、現場でアンケートした。芥子図屏風がろうそくの明かりで展示されていたら賛成か反対かを34人に聞くと、約6割が賛成した。「海外でも自分と同じように感じる人がいる」と感動した。これらの経験から、美術館には美術品が日本文化にどう関

作品制作者の意図に沿う展示 多くの美術館や博物館に広げたい

わってきたのかを伝える役目もある。「陰翳礼讃」を展開する論文を図書館振興財団のコンクールに応募。2016年の文部科学大臣賞に輝いた。翌年には中国・上海で開催された国際会議で、英訳した論文を発表した。「陰翳礼讃論」に多くの賛同を得て自信につながり、研究の世界への興味を湧かしたという。

中学、高校は美術大の付属学校に通っていたが、文化史の観点から照明を研究するため、筑波大比較文化学類に入学した。入学後は民俗学を専攻しながら、日本文学の授業も多く履修した。今は、明治以降の文学作品や新聞の記述から、どんな照明がどんな場面で使われてきたかをデータベース化し、分析する卒業研究に取り組む。

今年7、11月には照明文化研究会で交流があった「日本のあかり博物館(長野県小布施町)」で自ら企画した「あんどん皿と花鳥風月」展を開いている。あんどん皿は江戸時代、灯火から落ちる油を受けるために使われた皿だ。陶製で直径20センチ程度のもが多い。花や野菜、人物などさまざまな絵柄が施されている。「実用品なのに、さまざまな模様を描いた所に昔の人々の遊び心を感じる。子どもたちが昔の照明に興味を持ってこれたら」と企画した。学芸員資格取得に向けた博物館実習の一環で、貴重な現場体験になった。来年度は筑波大大学院の人文学位プログラムに進み、照明の研究を深める。「将来、学芸員になれば、自らの思いを展示に反映することができる。学んできたことを多くの人に伝えたい。来館者からのフィードバックも得て工夫を続け、今までの枠にとらわれない展示を目指したい。その思いは、ろうそくの明かりと違い、揺れ動くことはない。」(山田優芽=比較文化学類2年)

「あのか社のウェブページ、ト、解けましたか」「選考結果出ましたか」。登録しているLINEのオープンチャットでは日々、多くの就活生の声飛び交っています。見えないライバルたちの動向に、焦りを覚えます。まだオンライン授業が多く、同級生と対面で話す機会もなかなか増えません。▼昨年の定期健康診断の問診で、うつ病の疑いありと判定された学生は例年の2倍になりました。保健管理センターの精神科医は「精神科を受診しにくければ、気軽に相談できる学

生相談室などに足を運んでほしい」と話します(11面)▼新聞の編集作業の帰り道に他の編集部員と雑談したり、家族と電話したりすると心が癒されます▼最近、街頭取材をしている時に、「面白くて新聞をいつも読んでいますよ」と学生に声を掛けられました。思わずマスクの下で口元が緩みました▼今号は2年ぶりの「芸術祭」の舞台裏や筑波大のジョギングコースを紹介する記事などを掲載しました。本紙を手に、キャンパス内を走るもよし。芸術祭を楽しむもよし。「秋」管理センターの精神科医は「精神科を受診しにくければ、気軽に相談できる学

次号は12月13日(月)発行予定です

筑波大9人目のドラフト指名



記者会見後、チームメイトに祝福される佐藤隼輔(10月11日、筑波大野球場で) = 天野隼太撮影

学内総合

1面へ

パラメダリストら表敬訪問



永田恭介学長(中央)を表敬訪問する藤原(左)と高橋(右)(10月19日、本部棟で) = 車谷郁実撮影

学内総合

2面へ

首都大学リーグ 武蔵大に敗戦



試合前に気合を入れるメンバー(10月23日、バッテリーングパレス相石スタジアムひらつかで) = 天野隼太撮影

スポーツ

8面へ

丸善 書店3店舗が休業



筑波大の開学当初から運営されてきた丸善雄松堂の書店(10月29日、第一エリアで) = 北川瑠菜撮影

学生生活

10面へ

編集後記

「あのか社のウェブページ、ト、解けましたか」「選考結果出ましたか」。登録しているLINEのオープンチャットでは日々、多くの就活生の声飛び交っています。見えないライバルたちの動向に、焦りを覚えます。まだオンライン授業が多く、同級生と対面で話す機会もなかなか増えません。▼昨年の定期健康診断の問診で、うつ病の疑いありと判定された学生は例年の2倍になりました。保健管理センターの精神科医は「精神科を受診しにくければ、気軽に相談できる学

編集・発行

筑波大学新聞編集委員会
委員長 土井隆義(人文社会学系・教授) 社会学系・教授 関瑞穂(学生部長) 委員 逸村裕(図書館情報メディア系・教授) 図書館情報学系・清水論(体育系・教授) スポーツ社会学系・菅谷純子(生命環境系・教授) 果樹園芸学

筑波大学新聞編集部

編集代表 鴨田田公男(筑波大学・教授) サイエンスコミュニケーション
編集長 大和祐菜(障害科学類3年) 副編集長 北川瑠菜(比較文化学類3年) ほか編集部員23人

発行所

筑波大学
印刷 ヒラマ写真製版